

風力発電事業に係る計画段階環境配慮書に対する環境の保全の見地からの意見書

伊佐市長 隈元 新

事業の名称	(仮称) 肥薩ウィンドファーム	
事業者名	住所	東京都中央区銀座六丁目15番1号
	氏名	電源開発株式会社 代表取締役社長 渡部 肇史
事業の種類	風力発電所	
市町村長の意見	<p>計画段階環境配慮書では、</p> <p>① 熊本県水俣市、鹿児島県出水市、伊佐市での再生可能エネルギー普及の必要性について各計画書での状況を記載されているが、伊佐市環境基本計画の中でもその重要性について記載している。</p> <p>② 風力発電施設の伊佐市事業実施想定区域は、大半が国有林であるが住宅、集会施設、畜産施設が存在している。</p> <p>③ 総合評価では、周辺環境に与える影響を検討した結果、対象事業区域の絞り込みや事業計画における配置計画等の配慮を行うことにより重大な環境影響は回避又は低減できる可能性が高いものと評価されている。</p> <p>以上のことから、「これから自然環境保全上の配慮が必要な個所や周辺住居、施設等の配慮すべき施設分布状況等を十分に考慮した上で関係機関等協議を行いながら計画を進めること」及び下記の条件を付して影響はない旨の回答で差し支えないと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林開発に際しては、周辺地域の生活環境、自然環境などの環境保全に適正な配慮をし、下流部の河川、農地等に土砂の流出がないようにお願いしたい。 ・ 道路工事や造成工事に際しては、下流域への土砂流出、崩壊、雨水対策等を十分に配慮したうえで隣接する地権者への同意、下流域利害関係者に同意を得る、にぎり防止対策届等必要な手続きを行うこと。 ・ 造成中及び施設設置後の雨水対策、土砂流出対策を十分に考慮した計画とし、既存水路等に接続する場合には、管理者及び下流域利害関係者に同意を得るとともに必要な手続きを行うこと。 ・ 被害発生時の対処法を明確に計画すること。 	
備考		